

山梨ライトハウス

第84号

発行/社会福祉法人 山梨ライトハウス 〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1

TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124 URL <http://yamanashi-lighthouse.or.jp/>



山梨県盲人福祉センター（点字図書館）
電話/055-222-3502・223-1113（貸出専用）

青い鳥ホーム 電話/055-252-8994

青い鳥成人寮 電話/055-224-5060

青い鳥支援センター 電話/055-267-7480

青い鳥老人ホーム 電話/0553-26-6631

青い鳥ケアホーム 電話/055-235-5566



山梨ライトハウスの理念は
「^{あす}視覚障害者の未来を照らす
^{みちしるべ}光の道標となること」です。

CONTENTS

巻頭言……………	1	青い鳥老人ホームショートステイサービス…	5
ライトハウスニュース…	2・3	成人寮作品展・誕生日外出 …	6
移動ライトハウス・夏休み体験会…	4	新職員紹介・川柳 ……	7
山梨青い鳥奉仕団理事長就任…	5	お知らせ……………	8

盲聾教育に学ぶ

青い鳥成人寮

施設長 中山 比佐子

今日も昼食が終わると盲聾の忠男さんが事務所にいる私の所にやってくる。指文字での質問がいきなり始まるので、まずは「こんにちは」と挨拶を交わす。手を口に当てこんにちはと発声するが、近頃「こんにー」位に簡単にあしらわれる。改めて「文字」「文字」「こ」「ん」「に」「ち」「は」と指文字で示しながら発声してもらおう。

成人寮には、日本で初めて盲聾児教育を受けた忠男さんと成子さんが生活している。昭和二十七年山梨県立盲学校の教育は、触覚のみにより言語行動を形成し、点字、指文字による交信はもちろんのこと発声をも可能にした。二人を見ていると触覚には感動させられる。洗濯物をきちんとたたみ、しわ一つないほどにシーツを掛け、読んだ点字本はずれることなく机上に重なっている。ボタンが取れれば「針と糸です」と要求する。成子さんは運針ができる。さらに一度紹介すると、次にあった時は手に触れただけで誰かわかる。着ている服の縫い目をたどり、ベルトやポーチがあれば小さな手でひたすら触り、ここにことほほ笑む。どう教えればここまでできるのか、学習の奥深さと教育の素晴らしさを痛感させられる。昭

和四十一年に盲聾教育が打ち切りになった後、ライトハウス創設者の長谷部薫氏により継続されてきた。「可能性は信ぜよ」と福祉の信条を大きな原動力にして、地道な重複障害者福祉活動を継続してきた。たくさん情熱あふれた人々による教育や研究があつてこそ今の二人。七十五歳となったが、若い職員もこの能力に心を動かされ、二人のこれからの人生に携わっていく中で、自分を成長させてくれる存在になるであろう。さらに今でも教育に携わった方々が二人に会いに来てくださり昔話をしたり、元気な姿に安心する。私にとってもこの方々との出会いが、さらに二人を理解する材料になっている。

施設でも様々なことに取り組んでいる。六十名の入所者のうち、視覚に障害がある方は約半数。日中活動では、個人に合わせたプログラムにより、生き生きと動いている。ペースは様々であるが、どんなに障害が重くともできることは必ずある。今の取り組みが、十年後二十年後の生活にどう影響していくのか、そう

思うと根拠をもって支援を継続し、その人らしい人生をより豊かになる事を願い、今を大切にやり組んでいきたい。成人寮も開設四十三年が経過した。昭和、平成、令和と歩んできた利用者さんは決して若くはない。私自身もそう。これからは、「老い」についても考える時が来た。しかし、人生百歳時代、できたらプラス思考でいきたい。なぜなら、人ははかりしれない可能性を秘めて成長し続ける存在だから……。



中山施設長と秋山忠男さん

ライトハウスニュース

NEWS NEWS NEWS

第48号

● 盲人福祉センター

モニター委嘱

五月三十一日、モニター委嘱並びに今年度第一回目の懇談会を開催しました。委嘱されたのは、利用者から四名、奉仕団点訳部・音訳部から各二名ずつの計八名です。

はじめに、萩原理事長が就任とモニターへの協力についてお願いの挨拶をし、一人一人に所長から委嘱状が渡されました。

その後、青い鳥成人寮と支援センターの見学をして頂きました。モニターの方々からは、施設利用者の生活や福祉サービスの現状や課題などについて熱心な質問がありました。

懇談会では、見学した施設の感想のほか、利用者モニターからは、ライトハウスとの出会いのきっかけや現在受けている訓練などを、奉仕団のモニターからは、現在製作中の本や活動にあたっての意気込みなどについてお話いただきました。

次回十二月には、青い鳥ケアホームと盲人福祉センターを見学しご意見を頂く予定です。一年間宜しくお願いいたします。



利用者の作品を手取るモニター



成人寮の見学



理事長あいさつ

● 青い鳥ケアホーム

大阪旅行

数年越しの願いが叶い、五月二十九日、三十一日、利用者三名職員二名で大阪に行ってきました。初日は黒門市場にてたこ焼きなど食べ歩き、夕食でお好み焼きと大阪の食を満喫しました。

二日目はこの旅一番の楽しみUSJに行きました。映画のセットのような景色と華やかな音楽に一気にテンションもあがっていききました。ハリポッターやスパイダーマン、ルパン三世等のアトラクションに挑戦。乗る前はちよつと恐怖心もあつたようですが、アトラクション中はしっかりと目を開け、身体が傾いてもびくともせず楽しんでいました。感想を聞くと、「面白かった」、「水がかかったり、火で熱くなったりした」と話していました。もう一度乗りますか?の問いかけにはなぜか「もういい」と答えていました。その日の夜はホテルでMさんの誕生日祝いをしました。サプライズだったので、キョトンとしたMさんでしたが、デコレーションケーキをほおばっていました。帰りは新幹線に、乗り遅れそうになり階段を駆け上がって乗り込むハプニングもありましたが、皆笑顔で山梨に帰ってきました。ホテルに二泊したり、新幹線や地下鉄に乗りたり、テーマパークをゆつくり楽しんだりいろいろ体験できた旅行でした。



ショーの説明を受けるSさん



大阪名物お好み焼き



ホグワーツ特急

● 青い鳥老人ホーム

さくらんぼ狩り

今年も利用者の皆さんが心待ちにしていた、さくらんぼ狩りのシーズンがやってきました。六月十一日・十三日の二日間にわたり、山梨市の宮本農園に出掛けました。外出する事で気分転換と季節感を味わって頂くという趣旨で、毎年開催しており、今年は二十六名の方が参加しました。

二日間とも天気が良く暑さが心配されましたが、体調を崩す方もなく、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。施設から車で十分程の農園は山の傾斜にあり、職員の介助で降りた利用者の前には、沢山のさくらんぼが、赤く色づき実っていました。皆さんは職員に導かれ、さくらんぼの木の枝を手練り寄せて、自分の手で旬の味覚をもぎ取り、口に頬張ります。

皆さん会話を楽しみながら、沢山のさくらんぼを召し上がりました。ご自分で取れない方は、職員に手の平いっぱいにもいでもいい、嬉しそうに召し上がります。「甘くて美味しいね」と満足そうな笑顔で応えます。「いくらでも食べられそう」など、おしゃべりも弾み、旬のさくらんぼを堪能しました。さくらんぼ狩りを終えた後は、フルーツ公園内にある売店で、買い物を楽しみました。たくさん商品があり、「何を買おうかな」との声も聞かれました。最後に全員で記念撮影をして



もつと召し上がれ



日差しが気持ちいい



大きいのが見つけた

全員で記念撮影をして帰路につきました。今後皆さんも皆さんの体調に合わせながら、このような「旬」を感じられる行事を企画したいと思えます。

第四十三回開設記念祝賀会

青い鳥成人寮四十三回目の開設記念祝賀会が六月九日に行われました。昼食を挟み、午前午後と一部二部構成とし、一日お祝いモードで楽しみました。一部はゲーム感覚のレクリエーション。座布団取りゲームでは、介助に当たった職員の方が熱くなり、「ほらっ、ここが空いてる!!」など利用者さん以上に盛り上がっている声が響いていました。勝った順に好きなお菓子を運び、「やったー」と、皆さん喜んでいました。成人寮は女性が強いうで、上位は殆ど女性でした。



祝!開設記念

昼食は、お寿司、ネギトロ丼、かつ丼の三種類から選んでももらいました。一番人気はお寿司でしたが、酢飯が苦手な利用者さんや、かつ丼が大好きな利用者さんは「いつもお寿司が多いけど今年は良かった」と喜んでいました。昼食を食べながら「昔は四人部屋で、〇〇さんと同じ部屋だった。男性は畳の部屋だったよね」と、懐かしい話をしながら盛り上がっていました。



迫力のある演奏!

二部は昨年好評だった、甲府工業高校の吹奏楽部の皆さんに演奏をお願いしました。名探偵コナンのテーマソングから始まり、童謡やあずさ二号など、懐かしい曲を幅広く演奏して下さいました。また、演奏だけではなく、合唱や身体を使ったボディパーカッションを披露してくれました。利用者さんは、生演奏の迫力を肌で感じて手拍子をしたり、身体全体で喜びを表現している方もいて、あつという間に一時間が過ぎてしまいました。

成人寮は四十三回目の誕生日を迎え、令和元年はどんな一年になるのか、楽しみです。

料理に力を入れていきます

支援センターでは、四月～六月を調理強化月間とし、ヘルパーミーティングの際には調理実習を重ねました。高齢者の方の好きな味付けや大きさはどんなものか、野菜を中心に簡単においしく出来る調理を学び利用者様に喜んでもらえるよう今後も研修を重ねていきたいと思えます。また、日中一時支援事業の中でも料理教室を行いました。もちろん、準備や配膳、調理も自分たちで行います。第一回目はハンバーグと味噌汁、ポテトサラダです。玉ねぎのみじん切りでは目の痛みと戦い、お肉も皆でコネコネ混ぜて、配膳ではおいしく見える盛り付けを学び、二時間あつという間でした。第二回目はジャガイモのニョッキとピクルスです。ミートソースを練習したので、パスタやドリアにもなるね!と、喜ばれました。料理の勉強ももちろんですが、みんなで一緒に食べる時間がとても楽しかったです。訪問して調理を行う際には、いっぱい食べたくなる料理を作れるように担当ヘルパーはいつも一生懸命考えています。



旬の野菜のアレンジを学びます

今からの季節は食中毒にも気を付けて、調理を行っています。



豆腐ハンバーグのきのこソースかけ



第2回目はジャガイモのニョッキ



下ごしらえが大切!!



男性ヘルパーも調理が得意です

お客様は笑顔でお帰りに

梅雨空にやつと晴れ間が覗いた七月十七日、青い鳥ホームにお越しのお客様にお話を聞きました。「こんにちは、久しぶりの晴れ間ですね」とあいさつをすると、「そうですね。今日は午後からしようと思いましたが、電話したら空いているとのことですので来ました」と元気な声が返ってきました。

お客様は、甲府市にお住いのYさん。友人の紹介で青い鳥ホームに通い始めて、かれこれ七、八年になる常連さんです。首が痛くてマッサージにかかり始めたそう、人の手で辛いところを治療してもらえ、とてもいいとのこと。また、一時間以上もしてもらいたい大変ありがたく、受けながらいろいろな会話が出来るのもホームならではの嬉しいことだそうです。

ホームに対しての希望などについてお聞きすると、「ホームの人達には健康でいてもらいたい、ずっと仕事を続けてほしいです」とおっしゃり、帰り際「皆さんに親切にしてもらいたく、道で会ったら声を掛けさせてもらいます」と笑顔でお帰りになりました。



マッサージを受けるYさん(右)

第83号(5月)の青い鳥ホームの施術料金に訂正がありましたので、再度掲載させていただきます。

- ★受付時間
日曜日を除く午前9時～午後3時
- ★施術料金(税込)
90分 3,000円
60分 2,000円
30分 1,000円
- ★電話
055-252-8994

移動ライトハウス

移動ライトハウスin笛吹市

六月十六日(日)「視覚障害者用
 具体験会」を石和ふれあいセンター
 なごみの湯で行いました。笛吹市視
 覚障害者福祉会のメンバーほか、笛
 吹市内在住の視覚障害者の方々も参
 加され、ルーペや拡大読書器、プ
 レクストーク、地デジ対応ラジオな
 ど体験頂きました。中でも「タッチ
 ボイス」は、ペン型のボイスレコー
 ダーで専用シールへ予め録音するこ
 とで、身の回りの物(CDケースや
 薬の瓶など)を識別できるので便利
 と好評でした。

移動ライトハウスin都留市

「視覚障害者や盲導犬について
 もっと知ってもらいたい!」という
 山視福協都留支部員発案のもと、昨
 年度から引き続き二回目となる「視
 覚障害についての勉強・体験会」が、
 七月二十七日(土)いきいきプラザ
 都留で小中学生の親子を対象に開催
 されました。

日本盲導犬協会による講話のあ
 と、視覚障害者用具の紹介、ミニ点
 字教室などを行い、参加者からは、
 「盲導犬への接し方や、様々な便利
 な福祉用具を知ることができまし
 た」などの声を頂きました。最後に

都留支部員
 によるハー
 モニカ演奏
 で心癒され
 閉会となり
 ました。



都留市での様子



笛吹市での様子

次回の移動ライトハウス

十一月二十三日(土)に甲州市役
 所で行われます「こうしゅう福祉ま
 つり」へ参加する予定です。

詳しい内容が決まりましたら、ま
 たお知らせします。

夏休み体験会

盲人福祉センターでは、七月二十九日(月)に小中学生と保護者を対象に「目が見えないってどんなこと?」を開催しました。
 当日は、児童生徒十八名、保護者らあわせて二十九名のみなさんに参加していただきました。



お弁当の中身や位置の説明を受け、
 アイマスク食事体験をしました。



一覧表を見ながら点字で自分の名刺と
 カードをつくりました



盲導犬の役割について学びました
 (日本盲導犬総合センター 池田義教様)



アイマスクをして白杖歩行体験

この体験を通して、目が見えないということを考え、
 理解していただけたらいいなと思います。

山梨青い鳥奉仕団理事長に就任して

山梨青い鳥奉仕団 理事長 小田切 洋子



五十年以上にライトハウスから生まれた歴史ある山梨青い鳥奉仕団の理事長という大役を仰せつかり大変な責任を感じております。

私が初めて点訳の研修を受けたのは随分前ですが、途中視覚障がい者の方達との関わりが始まり、点字とは接していましたが点訳とは離れていました。その後、夫の仕事の関係で県外に居た時、家の非常に近いの公民館で「点訳」というポスターを目にし、縁を感じ、再び研修を受け、山梨に戻ると同時に団に入り、今に至っております。

青い鳥奉仕団の団員は点訳部、音訳部、写本部合わせて二百五十名ほどです。ライトハウスや講師の御指導を仰ぎながら年間を通し研修会で研鑽を積み、先輩、同期生、後輩達と励ましあいながら図書製

作に励んでいます。

又、団内外の行事に参加し、団員相互、ライトハウス、読者、他のボランティアグループの方達と交流し、見識を深めるよう努力しています。

今は、ICTが凄まじい勢いで発達し、視覚障がいの方達の情報授受手段も非常に多様化し、その便利さと量は従来と格段の差があると聞いています。機器の進歩は、障がいを持っている方にこそ、その障がいを補償するものとして活用出来る事は喜ばしい事です。

点訳、音訳の図書製作もパソコンですが、訳し方の基本はかわりません。点訳、音訳図書を、どのような媒体で、どのように利用するか様々ですが、私達は利用者がいる限り続け、又、新しい情報提供手段も取り入れ前に進みたいと思います。

奉仕団は今後も、より良い点訳、音訳、拡大其々の図書製作と同時に各団員が団に属している事に充実感を持ち、楽しい団であるよう、団員の皆様と共に努力していく所存です。宜しくお願い致します。

青い鳥老人ホームのショートステイサービスをご利用ください

青い鳥老人ホームでは、短期宿泊サービス(ショートステイ)事業を行っています。

当ホームは、視覚に障害をお持ちの高齢者のための老人ホームです。設備面に工夫が施されており、専門的な知識・技術を兼ね備えたスタッフが対応させていただきますので、快適で安心してご利用できます。

ご利用例：主介護者であるご家族様の諸事情（疾病・冠婚葬祭への参加）により、一時的に当該高齢者の養護ができない場合等

原則として視覚に障害を有する概ね六十五歳以上の方を対象としておりますが、その方の生活環境及びご家族様の事情等を考慮し、必要と認められる場合は、非該当の方であっても対応させていただきます。

ご利用方法等、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。また施設見学も随時受け付けております。

◆サービス利用料

- (1)基本利用料 1日 3,810円
- (2)食 事 代 800円(朝食200円、昼食300円、夕食300円)
- (3)おやつ代 200円(週に1回)

◆利用実績

30年度 延べ利用者数 8名 実利用者数6名 利用日数 合計 96日
本事業は、平成28年10月から開始し、まもなく3年目を迎えます。在宅生活者・各関係機関に周知が図られた事もあり、新規契約者・利用実績ともに増加傾向にあります。



明るく広々とした食堂。美味しい食事は青い鳥の自慢です



疲れが取れると好評の青い鳥温泉



全室個室でエアコン完備

◆お問い合わせ先

〒406-0004
山梨県笛吹市春日居町小松855-192
青い鳥老人ホーム
電話：0553-26-6631

青い鳥成人寮 作品展を終えて

7月19日から21日まで、オギノリパーシティ店様のふれあい広場にて作品展即売会を行いました。毎年恒例となっており、お客様に「いつもこの時期やっていますよね」「去年も買いました」など沢山の嬉しいお言葉を頂き、作品展が一般の方々にも根付いている事を実感出来ました。一点一点手作りで個性豊かなぬくもりのある作品を是非多くの方々に使って欲しいと願っています。これからも日々の作品作りにより磨きをかけ来年の作品展に繋げようとまた頑張っていきます。



来年に向けて
また頑張ります!



3日間を通して多くのお客様に来て頂きました!

誕生日外出

全員に年に一度おとずれる、特別な日。誰もが主役になる、自分が生まれた日。

そんな特別な日に自分の好きな物を食べに行く、誕生日外出。友達のお祝いのおときは「何を食べに行くの?」とそわそわ。とんかつ、うなぎ、お寿司、パスタ、焼き肉…。

「○○さんはとんかつにしたって」「私は何にしようかな?」「去年はうなぎを○○さん(職員)と食べに行った」と、話題はつきない。友達を羨ましいと思いつながら、自分の誕生日が近付いてくると、嬉しさから顔がほころぶ。自分の番が終わると、すでに来年を楽しみにする人もいます。

いつも注意しているが、特に気を付けなければならぬのが、怪我や風邪などの体調不良。出掛けられなくなったら大変だ



お寿司も好きだけど、今日はコレ♡

と、お互いに気遣いながら「きをつけろし!」「いけなくなっちゃうよ」と声をかけ合う。怪我や風邪をひかないように水分をとったり、手洗い・うがいを念入りにしたり、早めに寝たり自分出来る事をする。カウントダウンが始まる。あと三日、二日、前日、そして誕生日当日。

みんなから口々に「誕生日おめでとう!」の声。

にっこり微笑んで、「ありがとう!」ってきます!」今日もまた、誰かの特別な日。



はやくたべたいなあー

新任職員紹介

(2019年4～7月採用)

- ① 氏名 ② 所属 ③ 職種
④ 好きな言葉、または一言



- ① さいき かよこ
① 齊木 佳世子
② 青い鳥成人寮
③ 生活支援員
④ 柔軟にそして自分らしく。



- ① よだ たいが
① 依田 大雅
② 青い鳥成人寮
③ 生活支援員
④ 若い力で頑張ります。



- ① おかだ ふみこ
① 岡田 文子
② 青い鳥成人寮
③ 生活支援員
④ 明るく笑顔で頑張ります。



- ① もろすみ あつし
① 諸角 淳
② 青い鳥成人寮
③ 事務員
④ 人と人とのつながりを大切にする。



- ① いいじま りゅういち
① 飯島 隆一
② 青い鳥老人ホーム
③ 支援員
④ 礼に始まり礼に終わる



- ① こみやま せいや
① 小宮山 聖也
② 青い鳥老人ホーム
③ 事務員
④ 勸善懲惡



- ① さとう みなえ
① 佐藤 三苗
② 法人事務局
③ 事務員
④ あるがまま。



- ① しみす じゅんこ
① 清水 淳子
② 青い鳥支援センター
③ 介護支援専門員
④ 天網恢恢疎にして漏らさず

新しく
採用になった
皆さんです。
宜しくお願
いいたします!

川柳

(七月のライトハウス川柳会から)

浅川 和多留 選

安倍総理再選されて闘志燃え

加藤 隆

人生の選びし人よ星となり

桑原 梅次

宝くじいろはにほへで夢を買う

岡部 恵子

選挙後はバツタ変身トノサマに

萩原 満治

リハビリの帰りに好物あれやこれ

本間りよう

恩師でも言葉選びに苦勞する

相沢 幸雄

理想ではないが不思議な赤い糸

埜村 和美

のど自慢悔しいけれど予選落ち

細川 一



同行援護従事者養成研修のご案内

同行援護制度には、視覚障害者の移動支援時に必要な、「情報支援・情報提供」や外出時における「代筆・代読」の支援を行うことが明記されております。

当法人では「利用者の意向に合った同行援護」が出来るよう「同行援護従事者養成研修」を次のように実施しますので、お知らせいたします。

■一般課程

実施日 令和元年9月1日(日)～9月3日(火)
 申込開始日 令和元年7月15日(月)～
 受講料 12,000円
 定員 30名

■応用課程

実施日 令和元年11月11日(月)～11月12日(火)
 申込開始日 令和元年8月15日(木)～
 受講料 8,000円
 定員 20名

※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。予めご了承ください。

※詳しくは「山梨ライトハウス ホームページ」をご覧ください。

ホームページにて、日程・申込書をダウンロード出来ます。

※ご不明な点がございましたら、青い鳥支援センター坂本宛
 (☎055-267-7480)にご連絡下さい。

第65回 白い杖愛護運動 月間行事

①白い杖・盲導犬キャンペーン

■日時 令和元年11月1日(金)
 午前7時30分～8時30分

■場所 甲府駅南口及び北口
 他郡内地区2ヶ所

■内容 啓発パンフレットとふれあいの鈴などの配付、広報車による甲府市内での啓発活動

②白い杖福祉の集い

■日時 令和元年11月3日(日) 午前10時～午前11時30分

■場所 山梨県立盲学校体育館

■内容 奉仕者知事表彰
 白い杖愛護作文・生活体験文表彰
 最優秀作文発表

県下視覚障害者交流 「スポーツレクリエーション祭」(仮称)

山視福協、ライトハウス、山梨青い鳥奉仕団の交流を目的としたスポレク祭です。

これまでの運動会を見直し、体を動かすレクリエーションを中心に内容を一新する予定です。

皆さん、奮ってご参加下さい。

■日程

令和元年10月6日(日)午前9時開始

■場所

県立盲学校体育館

■種目

風船送り・玉入れ・福拾い等(予定)

素晴らしい絵画を 寄贈いただきました

ライトハウス監事原野五郎様より素晴らしい絵画を寄贈いただきました。絵画は、飾られた理事長室の景観や雰囲気になじむ作品で題名は「果物のある静物」です。ありがとうございました。



原野五郎様(左)と寄贈された絵画

相談支援事業所ヴィーヴィの移転と、支援センター電話番号の変更について

この度、相談支援事業所ヴィーヴィは、青い鳥ケアホーム第3へ移転となりました。これに伴い青い鳥支援センターの電話番号が変更になりました。ご不便をおかけしますが、より一層日々の業務に励んでいきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

<変更後の電話番号>

- 相談支援事業所ヴィーヴィ ☎055-221-1260
- 青い鳥支援センター ☎055-267-7480
- ヘルパーステーション青い鳥・居宅介護支援事業所青い鳥 ☎055-221-0880

令和元年 納涼祭

■日時 令和元年8月31日(土) 17時30分スタート

■場所 青い鳥成人寮 前庭
 ※雨天の場合、盲学校体育館で行います。

令和初の納涼祭を開催致します。恒例の屋台や福引コーナーの他、楽しいイベントや花火を行います。奮って御参加ください!



去年の様子